

# そよかぜ 55

2022/7/1

社会福祉法人長須賀保育園

編集人：広報委員会

発行人：堀口文男

## 特集 SDGs × 福祉



「シェア畑さとの」で収穫した大きなきゅうりを、おばあちゃんに自慢しているところ（笑）。  
「自分たちで育てたんだよ」「ほら、大きいでしょ」  
誇らしげに話している姿が連想できますね。

# SDGs × 福祉



## SDGs とは？

最近、さまざまな場面で耳にすることが多い SDGs (エスディーゼズ)。SDGs とは、「Sustainable Development Goals」の頭文字をとった造語で、貧困や紛争、気候変動による自然災害、感染症といった人類が直面している課題を整理し、2030 年までに世界が達成すべき目標を立てた“道しるべ”です。これからの社会に私たちの出来ることは何か？子どもたちの未来のために、真っすぐに向き合っていきたいと思います。



日々の保育や介護、福祉の取り組みは、SDGs に関連していることが多く、親和性の高さが伺えます。今号では、当法人の取り組みをいくつかご紹介いたします。



12 つくる責任  
つかう責任

## 廃材あそび 遊びから始めよう！

さとの保育園で廃材あそびを行いました。今回のテーマは『お店屋さん』。材料は、子どもたちが自宅から集めてきた廃材です。段ボール、チーズの空き箱、ゼリーカップと、普段ならゴミ箱へ捨てられてしまうものがたくさん集まりました。

さあ、これでどんな売り物を作ろうか。「カップの蓋でパンが作れそう」「お金も作ってみようよー」色々なアイデアが飛び交います。

しかし実際に製作を始めると、イメージ通りにはいきません。素材によって質感が違ったり、加工が難しかったり、何度も試行錯誤を重ねます。さらに、お友達からのアドバイスをもらって、新しい発想や工夫をこらしていきます。



「毛糸をお山みたいにぐるぐる巻くと本物のモンブランケーキに見えるよ！」

準備万端、「いらっしやいませ」いざ開店です！自分たちが作った物を見せ合いながらちよっと自慢気な子どもたち。手作りのお金を持って「ハンバーガーひとつ下さい」とお買い物を楽しみました。



13 気候変動に  
具体的な対策を

## コンポスト 土から野菜をつくり、 また土へ 暮らしの食循環。

長須賀保育園では、毎日の給食の残りで美味しい野菜を育てる為の堆肥作りをしています。

ベランダに置けるコンポストバッグを用意し、生ごみを入れてかき混ぜるのは、日直さんのお仕事。

最初は発酵する臭いに戸惑う子もいましたが、今では「栄養のある土になるんだよ」と声を掛けながら張り切ってかき混ぜています。

グリーンパレス横の畑では、いろいろな食物の苗が育ち始めています。この日は枝豆の苗植えます。畑作り未経験の職員が土を耕すのですが、何だか頼りない感じ…。

「二尺あけて」「腰を入れて」野菜作りのベテラン職員から手ほどきを受けて、何とか完了しました！先輩職員の豊富な経験と知恵に圧倒されつつも、一緒に身体を使って様々な事を学ぶことができました。

11 住み続けられる  
まちづくりを

## 先輩の知恵 地域の未来へ 受け継ぐ力



15 陸の豊かさも  
守ろう

## 植樹 アイデアの種を 飛ばそう。

うみまち保育園の園庭に植樹したレモンの木から、立派に黄色く育った果実が収穫できました。

さっそく、子どもたちとレモンシロップ作りに挑戦。輪切りにしたレモンと氷砂糖を保存瓶に交互に入れたら、たまに瓶を揺するだけで出来上がり。

少し舐めてみると「すっぱーい！」目を閉じ、口をすぼめていました。

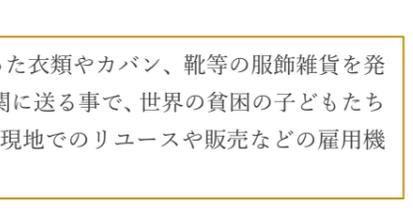
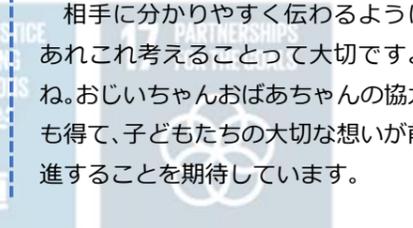
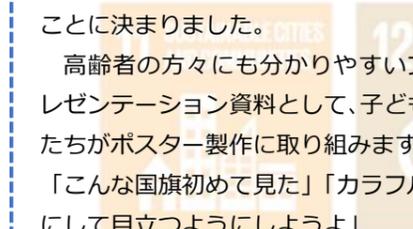
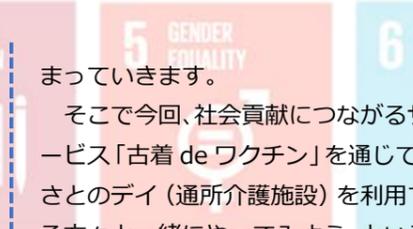
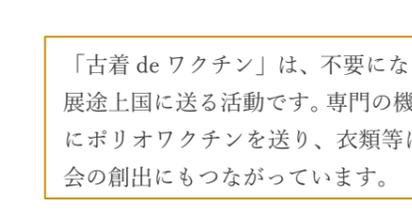
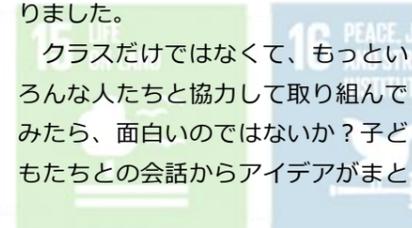
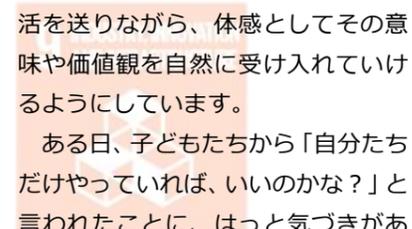
出来上がったシロップはレモンネードなどにして美味しく頂きました。



## 古着 de ワクチン



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



保育園では、SDGsの紙芝居を子どもたちに読み聞かせたりしています。難しい言葉だから、と言って排除はしません。「SDGs」に関する言葉を日々の中で折にふれて使い、日常生活を送りながら、体感としてその意味や価値観を自然に受け入れていけるようにしています。

ある日、子どもたちから「自分たちだけやっていけば、いいのかな？」と言われたことに、はっと気づきがありました。

クラスだけではなく、もっといろんな人たちと協力して取り組んでみたら、面白いのではないかな？子どもたちとの会話からアイデアがまと

まっています。

そこで今回、社会貢献につながるサービス「古着 de ワクチン」を通じて、さとのデイ（通所介護施設）を利用する方々と一緒にやってみよう、ということに決まりました。

高齢者の方々にも分かりやすいプレゼンテーション資料として、子どもたちがポスター製作に取り組みます。「こんな国旗初めて見た」「カラフルにして目立つようにしようよ」相手に分かりやすく伝えるようにあれこれ考えることって大切ですよ。おじいちゃんおばあちゃんの協力も得て、子どもたちの大切な想いが前進することを期待しています。

「古着 de ワクチン」は、不要になった衣類やカバン、靴等の服飾雑貨を発展途上国に送る活動です。専門の機関に送る事で、世界の貧困の子どもたちにポリオワクチンを送り、衣類等は現地でのリユースや販売などの雇用機会の創出にもつながっています。



ケアハウスでは、毎年梅を使った料理を入居者さんたちと一緒に作ります。梅干しや、こんべいとう梅シロップなど。新鮮な梅をテーブルの上いっぱいにする梅の良い香りが部屋に満ちてきます。「いつもの季節が来たね」と、入居者さんたちも顔をほころばせます。みんなで集まって、きれいに梅を拭いて、つまようじで一つひとつへたを取っていきます。

「今年の塩加減はどうしようかしら」楽しみながら、出来上がりを想像しながら、口の中が酸っぱくなりそう！美味しく食べられる日が待ち遠しいですね。



### SATONO 野菜を栽培しています



今年の保育テーマは「食」。年長クラスがペットボトルで野菜栽培に挑戦中です！自分だけのプランターに目を輝かせ「大きくなあれ」と願いを込めてベビー人参の種を植えました。プラバンで手作りピックを作り、かわいいプランターがベランダに並んでいます。夏に収穫予定なので、毎日の生長を楽しみにしています！

### UMIMACHI 12面体に挑戦



うみまち学童では、子どもたちの人数が増えて、毎日にぎやかに過ごしています。この日はみんなで折り紙を使って12面体に挑戦。お姉さんが年下の子に組方を教えます。「ここはこっちに組み込んでみて」難しい所もみんなで協力して完成しました。年下の子に優しく接する姿に、成長を感じることができ、温かい気持ちになりました。

### YURIKAGO 大きないちご発見！



5月に入り、自分たちでシールを貼っていちごの製作を行いました。それをお部屋のあちこちに吊るして、プチいちご狩りのはじまりです。どのいちごにしようかなと歩き回り、ようやくお気に入りの大きないちごを見つけました。「よいしょ！」一生懸命に引っ張ります。とれたいちごを抱えて、何度もお友だちと笑顔で見せていました。

### NAGASUKA 明日天気になあれ



「明日はお外で遊べるかな」雨が続いたので、年中さんがてるてる坊主を製作しました。にっこり笑顔で一列に並ぶカラフルなてるてる坊主さんにほっこり。心まで晴れやかな気持ちになりました。雨の日は、ホールやアトリエなどを使用し、アスレチックやゲームをして過ごしています。明日天気になあれ！

## 子育て支援センターに遊びに来ませんか!!



就学前のお子さまが気軽に遊べる場所を提供しています。製作やイベント、園庭開放も行っておりますので、ぜひご利用ください。詳細はこちらから、ホームページからご覧いただけます。



さとの子育て支援センター

☎0438-38-4827  
木更津市下烏田 893

うみまち子育て支援センター

☎0438-97-7563  
木更津市中島 1013-1



ホームページ QRコード